

## お茶の間◆楽交 様 (横浜市戸塚区品濃町 514-6 ボヌール東戸塚 203)

「お茶の間◆楽交」は、

- ・親子連れも小中高生も若者も大人も年齢に関係なく誰もがくつろげる場所
- ・普段の生活では出会うことのない、人・もの・ことに出会える場所
- ・それぞれが持っている力（特技・知識・情報・時間・お金・労力・ネットワーク等々）を活かせる場所



を目指した地域の居場所として、戸塚区居場所づくり補助金の助成を受けて運営しています。

### ○日頃の見守り活動について教えてください。

いきなり「見守り」のではなく、普段から顔が見える関係を築き、気軽に挨拶するなど、まずは、相手との関係性を作ることが大事だと考えています。相手との関係性がなければ、あまり知らない人にいきなり声をかけられませんし、ましてや困っていることを相談しにくいと思いますので。

ここは、そういった関係性を作る「きっかけ」となる場所です。この地域は、自治会町内会に加入している世帯が少ないので、ここでお互いを知り、お互いに相手のことをちょっと気にかけるといった「ゆるやかな見守り」を実践しています。

### ○普段の活動内容や特徴などを教えてください。

もともとこの地域にお住まいの方がいらっしゃることは少なく、ほかの地域から引っ越してきた方が友達づくりを兼ねて来られることが多いです。また、年齢に関係なく誰もがくつろげる居場所として、様々な年代の方にご利用いただいておりますが、特に 50～60 代の方と 30～40 代の親子連れの方の参加が多いです。



ここでは、それぞれが持っている力（特技・知識・情報・時間・お金・労力・ネットワークなど）を活かせる居場所として、様々な講座やイベント等を開催するとともに、適度にのんびりくつろいで、お茶を飲み、おしゃべりする「地域の縁側」として活動しています。

ここでの新しい出会いや体験をきっかけに、まちで顔見知りが増え、ここ以外の場所で挨拶をしたり、声を掛け合う機会が増えたりと、自然につながりが広がっていき、「まち中がみんなの居場所」になることを願っています。

### ○「誰もが安心して健やかに暮らせるまちづくり」のために大切なことは何だと思いますか？

ここでは、「認知症サポーター養成講座」を開催するなど、担い手のすそ野を広げる取組も行っています。「見守り側」として、困っている人を見かけた時にどう動けばよいか理解している人が地域の中により増えれば良いと思っています。

(上記は、2018年9月時点の内容です。)